

# ふつうが幸せ

このふつう = 普通とは日常のことです。

私の考える「ふつう」とは 何気なく過ごしている日常であります。

口をたい欲望や希望があり、手に入りたいものもあり 満ち足りなさを感じ、少しの小悩みもかかえ、ちょっと身体も具合が悪い。しかしながら大きな不運が無い日常です。洞中に居ると決いて「幸せ??」とは思えないかも知れませんが この世では、この「ふつう」の日常が本当の幸せなひとときと言えらると思ひます。

その「ふつう」の状況が大きな不運な出来事で奪われることで改めて幸せだったことに気づくことはよくあります。どうなんですか!! 今! あなたが過ごしている「ふつう」の状態はまさに幸せのひとときなんですか。

# 運転免許証は笑顔で

私は仕事柄、お客様の免許証のコピーを頂くことがしばしばあります。

そんなある時 衝撃なことが... 頂いたコピーの免許証の顔が満面の笑顔で白い歯まで出ているではないか!! 見ているだけでこちらまで笑顔になる! これはスゴイ!!

免許証の写真と言えはやはり緊張感ある状況と雑な撮影で、暗い顔になりがちなものだ。

ちょうど今年が免許更新だった私はもちろん、笑顔の免許証に挑戦しました。

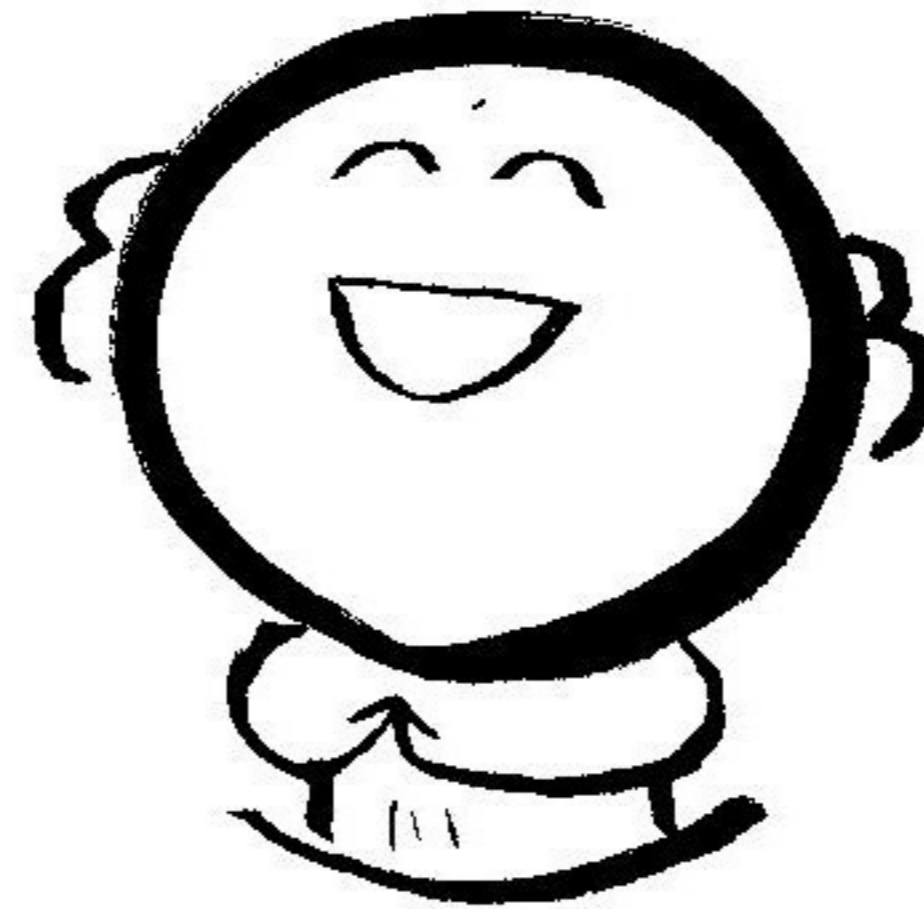
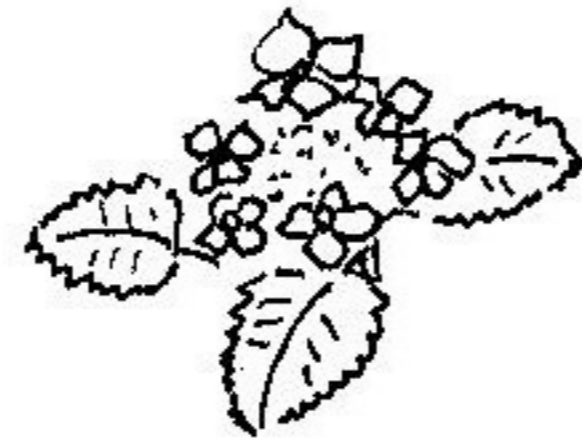
そして出来あがった免許証を見てみると... なんと中途半端な笑顔 😊

小遣けなくも ちよとびびってしまったようす。?! あ〜恥ぢがかし〜い この失敗写真と5年間のつき合いかあ〜

# おじいさん たより

2016.6月

いつも  
ありがとう  
ございます。



ソニックジャパン  
金沢支店 支店長  
(社)生命保険  
ファイナンシャルアドバイザー協会 (JAIFA)  
本部副会長 石川県協会会長  
鳥越介順 (とりごえ かいじゅん)

# 無駄な努力こそ3倍返し

この世の中は「全く無駄な努力こそ」が回り回って3倍になって自分に返ってくると思ひます。

例えば ある大きなお寺の修業僧が本堂の後ろ廊下を毎朝月水ぶきでピカッピカッ掃除をしています。その廊下は滅多に人が通ることもないのでいつもピカピカにしていても人から評価されることもなく、人が通らないのでほとんど汚れることもないので掃除のやりがいもないのであ。ある意味 無駄な努力に見えることでしょう。

文才局としては、お寺の正門周りの掃除は通る人からも感謝の声をかけられ評価もされるのでやりがいもあるでしょう。

しかしこの世の法則としては前者の努力が3倍となって自分に返ってくるようす。

今、あなたが続けている努力は無駄であれはあほほど、後のパフォーマンスは大きくなるでしょう。

迷わぬ 継続していいのであ。

